

| | |
|------------------------|-----|
| 第3回 埼玉県健康長寿計画推進検討会議 | 資料5 |
| 令和6年2月13日（火） 18：30～ | |

埼玉県地域・職域連携推進事業について

埼玉県地域・職域連携推進事業

●「地域・職域連携推進協議会」設置の法的根拠

- ・ 地域保健法第4条に基づく基本指針（（略）関係団体等から構成する連携推進協議会を設置し（以下略）、）
- ・ 健康増進法第9条に基づく健康増進事業実施者に対する健康診査の実施等に関する指針

埼玉県地域・職域連携推進協議会 （「埼玉県健康長寿計画推進検討会議」と一体的実施）

協議会委員

- ・ 埼玉縣市町村保健センター連絡協議会
- ・ 埼玉県保健所長会
- ・ 埼玉産業保健総合支援センター
- ・ 埼玉県医師会 ・ 埼玉県歯科医師会
- ・ 埼玉県国民健康保険団体連合会
- ・ 全国健康保険協会埼玉支部
- ・ 埼玉県食生活改善推進員団体連絡協議会
- ・ 県民代表
- ・ 学識経験者 ・ 国立保健医療科学院
- ・ 埼玉労働局

埼玉県地域・職域連携推進協議会担当者会議

構成員：協議会組織の実務者, 医療保険者, 健康経営事業所
庁内関係課, 保健所 等

埼玉県地域・職域連携推進事業

保健所地域・職域連携推進協議会 （他事業の協議会に兼ねることも可）

協議会委員

- ・ 管内市町村（健康増進主管課・国保主管課）
- ・ 医師会 ・ 事業所 ・ 労働基準監督署
- ・ 全国保険協会埼玉支部 ・ 健保組合
- ・ 商工会議所、商工会 ・ 地区組織 等

保健所地域・職域連携推進事業

- 特定健診・特定保健指導の結果データ等を元に、管内の健康分析や事業評価
- 特定健診・特定保健指導、各種がん検診等の受診率向上のための情報収集・共有
- 共同事業の実施 等

保健所(二次医療圏)別 地域・職域連携推進協議会

| 保健所名 | 出席者 | | | | | | | | | | | | 実施内容 | |
|-----------------|-------|-------|-------|-----|--------|----------|-------|------------|------|----|-----|----------|--------------------------------|--|
| | 市町村保健 | 市町村国保 | 埼玉労働局 | 労基署 | 産保センター | 地域産保センター | 協会けんぽ | 健康保険組合・連合会 | 県国保連 | 衛研 | 事業所 | 商工会商工会議所 | | その他 |
| 南部保健所 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | ○ | ○ | ○ | ○ | | | 市町村高齢関係課 高齢者施設 高齢者施設関係団体 | 「高齢者施設における健康管理 ～生活習慣病予防とメンタルヘルス対策～」 ・保健所から情報提供 ・基調講話 ・事例紹介 ・活動紹介 |
| 朝霞保健所 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | ○ | | | | | | | 1 各市町及び保険者の健康課題について 2 コロナ禍、コロナ後の事業の実施状況について 3 データヘルス計画の進捗状況について 4 健康増進・食育計画の進捗状況について 5 意見交換 |
| 春日部保健所 草加保健所 | ○ | ○ | | ○ | | ○ | | | | ○ | ○ | ○ | 医療機関 越谷保健所 | 第1部 情報提供 I 働き盛り世代の健康状態と望まれる対策について ～保険者(国保・健康保険組合・協会けんぽ等)のデータから～ 報告者 埼玉県衛生研究所 地域保健担当 担当部長 堀 寛恵 II 春日部労働安全衛生基準監督署管内の検診結果について ～事業所健診結果報告から～ 報告者 春日部労働安全基準監督署 安全衛生課長 泉氏 III 草加保健所管内事業所の健康づくりの取組について ～健康課題と事業所等アンケート・訪問実態調査一考察より～ 報告者 埼玉県草加保健所 保健予防推進担当 第2部 情報交換(春日部会場 草加会場に分かれます) IV 壮年期等の生活習慣病対策に対する課題について ～データヘルス計画及び健康増進計画の推進と現状について～ |

| 保健所名 | 出席者 | | | | | | | | | | | | | 実施内容 |
|--------|-------|-------|-------|-----|--------|----------|-------|------------|------|----|-----|--------------|---------------------------|---|
| | 市町村保健 | 市町村国保 | 埼玉労働局 | 労基署 | 産保センター | 地域産保センター | 協会けんぽ | 健康保険組合・連合会 | 県国保連 | 衛研 | 事業所 | 商工会 商工会議所 | その他 | |
| 鴻巣保健所 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | | | | ○ | | | 1 研修会 講演「糖尿病重症化予防と慢性腎臓病について」(仮題) ～保健指導、受診勧奨のタイミングについて～ 講師 金崎内科医院 院長 金崎 聖伸 氏 2 連絡会 「働き盛り世代の生活習慣病重症化予防の取り組み状況と課題」 |
| 東松山保健所 | ○ | ○ | | | | | ○ | ○ | | ○ | | | | 1 情報提供 管内の健康課題 2 情報共有 報告 各領域の健康課題 健康課題に対する取り組み 3 その他 意見交換 |
| 坂戸保健所 | ○ | ○ | | | | | ○ | | | ○ | | | 川越市国民健康保険課 川越市健康づくり支援課 | 議題(主テーマ:働き盛り世代へのアプローチ) 1 保健所説明(地域・職域連携の意義、協議会の位置づけ、事業の流れ) 2 埼玉県と坂戸保健所管内の健康課題 衛生研究所 堀担当部長 3 協会けんぽ埼玉支部の現状と課題 協会けんぽ 佐藤グループ長、越川氏 4 意見交換 (川越市保健所 佐藤副参事、塩野技師からの話題提供を中心に議論) |
| 狭山保健所 | ○ | ○ | | | | | ○ | | | | ○ | | | ①働き盛り世代の健康管理研修会 (1)「事業所の健康づくりに関するアンケート」結果について (2)講 演 「たばこをやめたい、やめさせたいときの禁煙サポート」 講 師 十文字学園女子大学 名誉教授 健康管理センター所長 医学博士 齋藤麗子 先生 (3)情報共有 ・埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度について 埼玉県保健医療部健康長寿課 健康増進・食育担当 ・事業所における受動喫煙防止対策事例報告 西部地区保健所管内 5事業所 ②地域職域連携推進会議(狭山保健所、市と共催。) (1)健康づくりに関する講演会 (2)情報交換会 (市と協議してきたが今年度の開催は難しい。1月に打ち合わせを実施する。) |

| 保健所名 | 出席者 | | | | | | | | | | | | | 実施内容 |
|---|-------|-------|-------|-----|--------|----------|-------|------------|------|----|---------------|--------------|-----------------------------------|---|
| | 市町村保健 | 市町村国保 | 埼玉労働局 | 労基署 | 産保センター | 地域産保センター | 協会けんぽ | 健康保険組合・連合会 | 県国保連 | 衛研 | 事業所 | 商工会 商工会議所 | その他 | |
| 加須保健所 幸手保健所 (利根保健医療圏地域・職域連携推進関係者会議:幸手保健所共催) | ○ | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | ○ | | | | 社会福祉法人清幸会 幸手保健所管内事業所エームサービス(株) | 1 報告 <ul style="list-style-type: none"> ・「働く世代の健康づくり事業所調査の結果について」 報告者 幸手保健所 保健予防推進担当 技師 杉木 夏苗 ・「利根保健医療圏域の健康課題について」 報告者 加須保健所 保健予防推進担当 技師 川崎 麻里奈 2 講話「健康経営の推進」 ～健康課題の見える化と働き方改革について～ 講師 公立大学法人埼玉県立大学 保健医療福祉学部 健康開発学科 健康行動科学専攻 准教授 津野 陽子 氏 3 事例報告 <ul style="list-style-type: none"> ・事例1「社会福祉法人における健康経営の取り組み」 発表者 社会福祉法人清幸会 本部統括管理者 吉田 和史 氏 ・事例2「社員食堂での健康づくりへの取り組み」 発表者 幸手保健所管内事業所従業員食堂内エームサービス 管理栄養士 小谷 彩月 氏 4 情報交換 働く世代の健康課題と各機関の取り組みについて 5 情報提供 がん検診の受診率向上について 埼玉県疾病対策課がん対策担当 |
| 熊谷保健所 本庄保健所 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | | ○ | | | | | 1 講義:北部保健医療圏域の健康課題について(仮) 講師:埼玉県衛生研究所 企画・地域保健担当 担当部長 堀 寛恵 氏 2 各機関の保健事業などの取り組み状況について 3 情報交換:働く世代の健康づくりの推進について |
| 秩父保健所 | ○ | ○ | | ○ | | | ○ | | | ○ | 健康経営 実践事業所 | ○ | 給食施設 | 1 講義「受動喫煙防止対策について～たばこに関する最新の知見～」 講師 国立保健医療科学院 稲葉洋平 先生 2 全国健康保険協会埼玉支部から情報提供 3 事例提供 株式会社荒川瀧石 様 4 意見交換 |

埼玉県地域・職域連携推進協議会担当者会議

- 開催日 令和6年1月24日(水) 午後2時30分～4時30分
- 参加者 埼玉労働局健康安全課, 労働基準監督署(さいたま,川口,熊谷,川越,所沢,行田,秩父)
全国健康保険協会埼玉支部
保健所(南部,春日部,朝霞,春日部,草加,鴻巣,東松山,坂戸,加須,幸手,本庄,秩父)
- ねらい 保健所(二次医療圏)における地域保健と職域保健の連携の促進を図る

職域保健の観点からの課題

1. メンタルヘルス不調者の増加

- 精神障害認定事案の増加

2. 健康を起因とする労働災害の増加

- 労働者の高齢化を背景に転倒や腰痛など、労働者の健康状態を起因とする労働災害が増加

3. 法令に基づく指導の限界

- ストレスチェック、健康診断の実施等、法令に基づく最低限の措置に対する指導は着実に実施しているが、各種指針等に基づく健康保持増進対策については、法令上の義務ではないので定着させることが難しく、従業員の健康保持増進につなげられていない。

4. リソース不足

- 監督署職員の数等のリソースが必ずしも十分でなく、事業場の健康保持増進対策の支援や、支援できるサービスの提供が十分にできていない。

地域保健の観点からの課題

1. 健康寿命は延伸している(アウトカム評価)

2. 生活習慣・危険因子(アウトカムの基礎なる項目)で改善が見られなかったり、悪化している項目がある

- メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍の減少率
収縮期血圧の平均、血糖コントロール不良者の割合 等

3. 特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の伸び悩み

- 特に特定保健指導実施率の改善が急務

4. 自然に健康になれる環境づくり、多様な主体による健康づくり

- 健康に関心が薄い人、関心はあるが忙しいなど生活習慣を改善できない人にも届くサービスの構築が必要
- 他機関・他部局との連携が必要

全国健康保険協会埼玉支部の現状

1. 県民約140万人が加入。県民の約1/5が協会けんぽの加入者。
2. 埼玉支部加入事業所の86%が従業員9人以下の事業所である。埼玉支部加入被保険者の75%が従業員10人以上事業所に加入している。
3. 業態別にみた事業所数が多い順番は、「職別工事業」「不動産業」「総合工事業」「専門・技術サービス業」「設備工事業」
業態別にみた被保険者数が多い順番は、「社会保険・社会福祉・介護事業」「道路貨物運送業」「医療業・保健衛生」
5. 埼玉支部加入者の居住地別特定健診受診率（令和3年度）
 - 被保険者（ベスト5）横瀬町70.1% さいたま市大宮区66.4% さいたま市浦和区61.5% 皆野町62.8% 戸田市58.2%
 - 被扶養者（ベスト5）東秩父村33.6% 三芳町33.7% 和光市30.9% 春日部市30.6% ふじみ野市30.3%

出典：令和5年度地域・食育連携推進担当者会議 資料3 協会けんぽ埼玉支部の現況と課題,全国健康保険協会埼玉支部

～意見交換から(抜粋)～

保健所担当者

労働基準監督署・協会けんぽ

地域の健康課題の解析から、「高血圧の者の割合高い」「身体活動量が低い」という特徴が明らかになっている。

労働災害では「事務所内での転倒や骨折」が課題となっている。組み合わせて考えると、この地域ではウォーキング教室などの運動する機会を増やし、筋力アップを図る取り組みが効果的ではないだろうか。

保健所は事業所とのアクセスの機会が少ない。

労基署は事業所に対して個別、集団指導を行っているので、その際に保健所からの情報提供として事業所に対してリーフレットなどの配付ができるのではないかと。

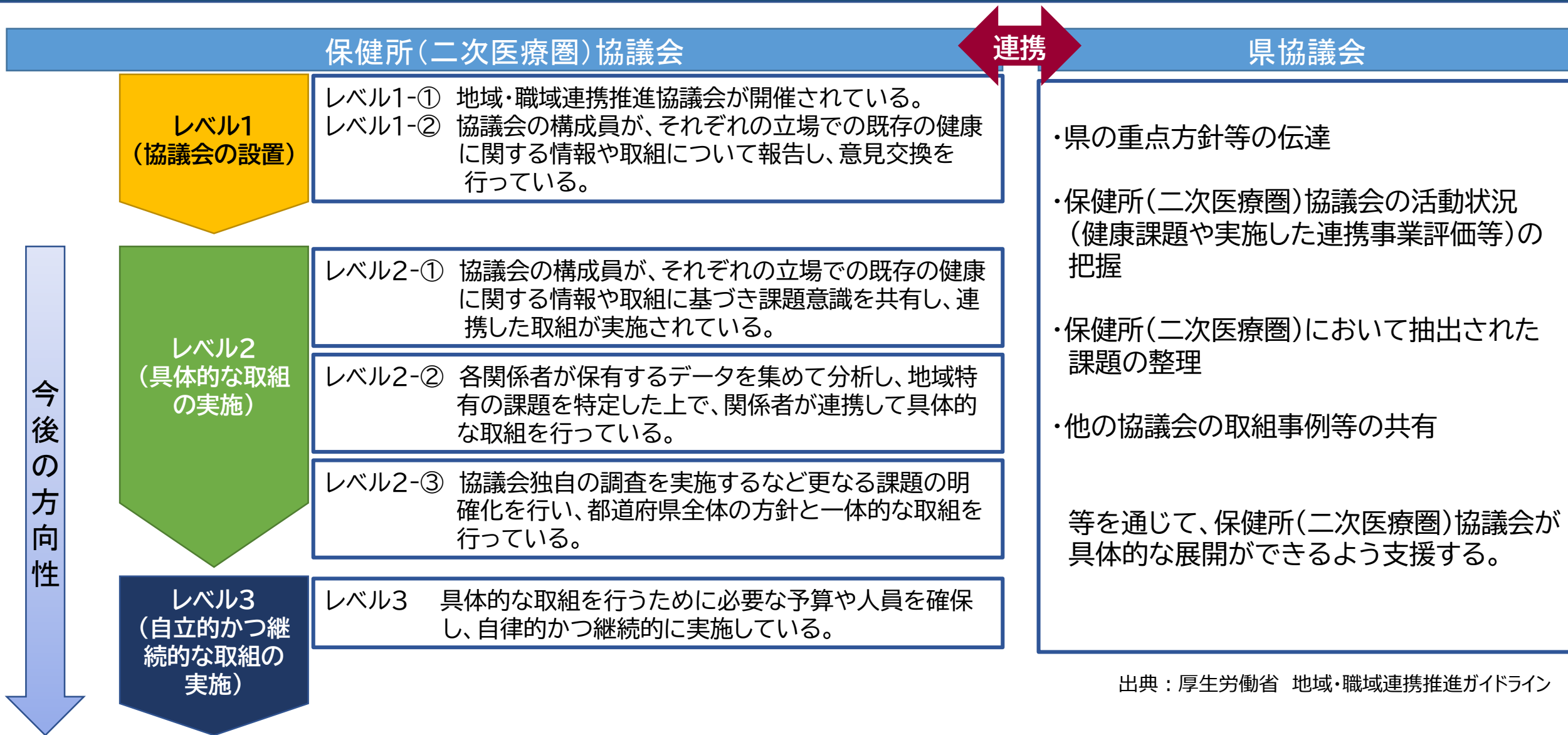
サービス提供の機会が少ない小規模事業所の健康支援が必要ではないかと。

協会けんぽと連携した取組を進めるとよいのではないかと。

保健所と労基署と連携した取組ができないかと。

- ・労基署と保健所の共催によるフォーラムやセミナーの開催が可能かもしれない。
- ・労基署では工業団地や建設業等の事業者が集まる機会を利用し、セミナーを行っている（保健所が参画できる可能性もあるかもしれない）。
- ・保健所で出前講座のようなものがあると頼みやすいのではないかと。

地域・職域連携推進協議会の成長イメージ



出典：厚生労働省 地域・職域連携推進ガイドライン

地域・職域連携推進事業の主な内容

1. 健康長寿サポーター養成講習

- 自ら健康づくりを実践するとともに、健康に役立つ情報を草の根レベルで広める「健康長寿サポーター」の養成

2. 埼玉県健康経営認定制度

- 健康経営に取り組む県内事業所・団体の認定

3. 埼玉県コバトン健康マイレージ

- 通信機能付き歩数計やスマートフォンアプリ等を活用し、1日の歩数等でポイントをため、抽選で賞品があたるもの。インセンティブを活用し、忙しい働き世代と健康無関心層に健康づくりのきっかけづくりを提供する。

4. 埼玉県コバトン健康メニュー

- 健康を意識した食塩が少なく、野菜が多いメニューの栄養基準を設定し、コバトン健康メニューとして弁当や給食、飲食店でのメニューとして提供いただいている。また、県公式クックパッドでもレシピを紹介している。

5. 埼玉県受動喫煙防止対策実施施設等認証制度

- 改正健康増進法よりも厳しい内容の受動喫煙防止対策に取り組む「施設」を認証する

6. 特定健診・特定保健指導スキルアップ研修

- 特定保健指導者の資質向上を目的とした研修会の実施

7. 特定健康診査結果データ解析事業

- 国保連、協会けんぽ等の医療保険者の協力のもと、特定健康診査結果データを提供いただき、市町村別に解析を行う。地域の健康状況の分析に活用する。